

事業所名		児童発達支援　このき港校				支援プログラム				作成日		2025　年		2　月		18　日	
法人（事業所）理念		・ お子様ひとりひとりのペースに合わせて。ゆっくり丁寧にサポート。 ・ お子様の「できた」「楽しい!」を増やし、ご家族の安心につながる場所を目指します。 ・ 発達段階に合わせたサポートで自分らしく生きていく力を育てます。															
支援方針		【感覚統合】のための3つの取り組み 普段私たちは、音や光、何かに触れる感覚など、沢山の”刺激”に囲まれています。脳には次々と入ってくる様々な情報を分類したり整理したりする働きがあります。 この脳の働きを【感覚統合】といいます。 私たちは、①運動（からだの動かし方を知る）②学習（興味ある事を学ぶ）③活動（工作・ランチ作り・お出かけなど）の“3つの取り組み”をお子様の成長発達に合わせて行っています。子ども達が楽しみながら【感覚統合】していくことで、子どもたち自身の可能性を広げていくことを目指しています。															
営業時間		平日	11	時	00	分から	19	時	00	分まで	送迎実施の有無		あり　なし				
学校休業日		9		時	00		18		00								
		支　援　内　容															
本人支援	健康・生活	生活に必要な基本的技能（食事、排泄、衣類の着脱、お手洗いなど）を獲得できるよう、環境の工夫を行いながら、子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援を行っています。															
	運動・感覚	保有する視覚、聴覚、嗅覚、固有覚等の感覚を十分に活用できるよう、運動プログラムや遊び等を通じて支援を行っています。															
	認知・行動	一人ひとりの認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。また、取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげる事ができるように支援を行います。															
	言語 コミュニケーション	障害の種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り等のジェスチャーを用いて意思の疎通が行えるようにする等、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に着ける事ができるよう支援します。															
	人間関係 社会性	遊びや活動を通じて、集団に参加するための手順やルールを理解できるよう支援しています。また、異年齢児が共に活動する事で、相互理解や互いの存在を認め合いながら集団生活を行う事ができるよう支援を行っています。また、集団遊びが苦手なお子様にも大人が介入して行う連合的な遊びやルールを守って遊ぶ協同遊びを通じて、徐々に社会性の発達を支援します。															
家族支援		保護者面談（随時） 関係機関との連携 子育て支援相談等								移行支援		進学先・就労先との情報共有 進学・就労・環境変化に向けての課題提示及び実践					
地域支援・地域連携		各関係各所との連絡事項・情報共有 ケース会議等の連携 相談支援事業所・社会福祉協議会との連携								職員の質の向上		内部研修　（5～6回/年　外部講師を招いて実施） 外部研修　（発達センター等が主催の研修に参加） 事例検討　（随時）					
主な行事等		季節のイベント おやつやランチ作り 工作、実験 運動遊び お出かけ															